

## 第1回墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会議事要旨

1 日 時 令和3年10月11日(月)午後1時30分から(午後2時39分終了)

2 場 所 区役所13階 会議室131  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンライン会議形式により開催した。

### 3 議事次第

- (1) 委員紹介【資料1】
- (2) 地域密着型サービス運営委員会委員長及び副委員長の選出
- (3) 地域密着型サービス運営委員会の役割等について【資料2・3】
- (4) 地域密着型サービス事業所の整備状況等について【資料4】
- (5) 第8期事業計画における地域密着型サービス施設整備について【資料5】
- (6) 令和3年度地域密着型サービス事業の公募状況について【資料6】
- (7) 令和3年度地域密着型サービスの介護報酬改定の概要について【資料7】
- (8) その他

### 4 配布資料

- 【資料1】 墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会委員名簿
- 【資料2-1】 墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会に関する要綱
- 【資料2-2】 墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会の役割
- 【資料2-3】 地域密着型サービス運営委員会の意見聴取及び施設開設までの流れ
- 【資料3】 令和3年度墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会開催予定
- 【資料4-1】 地域密着型サービス事業所指定状況
- 【資料4-2】 新規開設事業所について
- 【資料4-3】 地域密着型サービス利用実績について
- 【資料5】 第8期介護保険事業計画における地域密着型サービス施設整備の考え方
- 【資料6】 令和3年度地域密着型サービス事業候補者の公募状況
- 【資料7-1】 令和3年度報酬改定における主な改定事項について(地域密着型サービス)
- 【資料7-2】 令和3年度報酬改定における主な改定事項について  
(新型コロナウイルス感染症の対応に係る加算等)

## 5 出欠席者

氏名	所属等	出欠	参加方法
鏡 諭	淑徳大学教授	出	オンライン
山室 学	墨田区医師会	欠	
堀田 富士子	東京都リハビリテーション病院	欠	
岩田 尚明	墨田区特別養護老人ホーム施設長会	出	オンライン
濱田 康子	すみだケアマネジャー連絡会	出	会場
小谷 庸夫	墨田区訪問介護事業者連絡会	出	オンライン
槇本 守康	グループホーム等管理者連絡会	出	会場
佐藤 和信	第1号被保険者	出	会場
村山 厚子	第1号被保険者	出	オンライン
福島 洋子	第2号被保険者	出	オンライン
後藤 隆宏	墨田区福祉保健部長	出	会場

委員長

副委員長

事務局出席者	北野 亘	介護保険課長
	若菜 進	高齢者福祉課長
	澤田 敦子	副参事（地域包括ケア推進担当）
	中山 裕子	介護保険課管理・計画担当主査
	立野 真宏	介護保険課給付・事業者担当主査
	坂下 直樹	介護保険課給付・事業者担当主査
	米田 千加子	介護保険課給付・事業者担当主事
	立野 雄紀	介護保険課管理・計画担当主事
	杉田 貴幸	介護保険課管理・計画担当主事

## 6 議事内容

### (1) 委員紹介

委員の改選で11名が就任。継続委員8名、新委員3名について紹介を行った。また、本日2名が欠席である旨、報告があった。

### (2) 地域密着型サービス運営委員会委員長及び副委員長の選出

委員会設置要綱第5条第2項に基づき委員長の選出を行った。委員の互選により鏡委員が委員長に選任された。

副委員長については、鏡委員長の指名により濱田委員が就任した。

### (3) 地域密着型サービス運営委員会の役割等について

事務局から【資料2・3】に基づき、地域密着型サービス運営委員会の役割及び年間開催予定について説明があった。次回委員会については令和4年1月下旬ないし2月に開催予定。

#### 委員から質問

区外事業所の指定の説明で「墨田区は、他市区町村の事業所を利用しているケースが多い。」とあるが、これは施設整備率が低い地域の人が、他区へ流出しているということか。

#### 事務局回答

ここで言う「他市区町村の事業所の利用」というのは、事情があって県外のサービス付き高齢者住宅にお住まいになる方がその地域の地域密着型サービスを利用している数が多い、という意味合いであり、近隣の区へ流出しているということではない。

### (4) 地域密着型サービス事業所の整備状況等について

事務局から【資料4】に基づき、区内における地域密着型サービス事業所の指定状況、新規開設、利用実績について報告があった。

#### 委員長から質問

利用実績からかなり健闘している印象を受ける。新型コロナウイルス感染症の影響で事業所は様々な苦勞をしていると思うが、具体的に事業者からどのような要望があったか。

#### 事務局回答

衛生物資の購入が大変だという声が一番大きく、地域密着以外の事業所からも共通して聞かれる。令和2年度は国の交付金を活用し、全介護事業所を対象に規模に応じて10万円～30万円の支援金を交付した。また、昨年度から今年度に引き続いて、東京都から支給される衛生物資(マスクや手袋等)を希望する事業所へ配布している。

#### 委員長から質問

地域密着型サービスを束ねる立場として、事業者の様子をどのように見ているか。また、新型コロナを直接的な要因とする事業所の廃止はあったのか。

#### 事務局回答

通所介護は、やや利用者の減少が見られるが、訪問介護や訪問看護については、例年より実績が増えている。厚生労働省の通知により認知症高齢者グループホームでの家族との面会が一部制限され、人とのコミュニケーションが不足するなど、グループホームの職員等は大変苦慮されていると認識している。新型コロナを直接的な要因とする事業所の廃止は、今のところ認識していない。

#### 副委員長から質問

圏域によって事業所数にかなりばらつきが見られるが、圏域ごとの差について、区として何か考えがあるか。

#### 事務局回答

現在公募している施設は、認知症高齢者グループホームであるが、整備率は圏域によりばらつきがあり、みどり圏域と、こうめ圏域は0%で、ぶんか圏域も低い状況である。整備率が低い地域は、重点的緊急整備地域として指定することにより、施設整備に対する都の補助金の上乗せがあるため、区としても当該地域を指定し、公募を行っている。小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護は、利用状況等を鑑み、現在募集していない。

#### 副委員長から質問

小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護は定員に対してかなり利用者が少ない事業所もあるが、区として利用を推進していく考えがあるか。

#### 事務局回答

地域密着型サービス全体に言えることだが、利用者の認知度が足りていない面もある。地域密着型サービスというものが選択肢の一つにあると認識したうえで、介護サービスを検討、選択する形が理想。地域密着型サービス全体の周知を図り、認知度を上げることが利用者の増加に繋がると考える。ケアマネジャーの方の協力も得ながら、保険者として更に周知に力を入れていく。

#### 副委員長から意見

包括支援センターの職員の中にも小多機、看多機に詳しくない職員もいると聞いているので、ケアマネジャーだけでなく、そういった所も含めて周知してほしい。

#### **(5) 第8期事業計画における地域密着型サービス施設整備について**

事務局から【資料5】に基づき、第8期計画における地域密着型サービス施設整備の考え方について説明があった。

#### **(6) 令和3年度地域密着型サービス事業の公募状況について**

事務局から【資料6】に基づき、今年度の地域密着型サービス（認知症高齢者グループホーム）事業候補者の公募状況について、報告があった。

#### 委員長から質問

グループホームの誘致について、墨田区の課題を分析できているか。

#### 事務局回答

区内に土地が無い、というのが一番大きな課題である。運営したいという事業者の声はあるが、用地が見つからないという状況である。

#### 委員長から質問

私有地を定期借地権で貸すとか、何か対応は考えているか。

#### 事務局回答

現在は、民有地での公募（民設民営）としている。

#### 委員長から意見

コロナで先行きも見えづらく事業者も手が挙げにくい状況であろう。プラスアルファの補助金等々で対応していくしかないかもしれない。

#### **(7) 令和3年度地域密着型サービスの介護報酬改定の概要について**

事務局から【資料7】に基づき、地域密着型サービスの介護報酬改定の概要について説明があった。

#### 委員からの質問

グループホームのサテライト型事業所の基準が新設されたとあるが、サテライト型とはどういうものか。

#### 事務局回答

代表者、管理者を本体事業所とサテライト型事業所で兼務することができるため、効率的な運用が可能となる。基本的には、規模としてはサテライト型も本体事業所と同じサービスを提供するものを想定している。

#### 委員からの意見

P D C A サイクルの推進とあるが、ぜひ積極的に取り入れて、グループホーム等の整備・運営等に活かしてほしい。

### 事務局回答

P D C A サイクルの推進であるが、今回改定で「科学的介護情報システム・L I F E」が導入され、墨田区内の地域密着型サービス事業所の約半数がL I F Eの登録をし、加算を受けている。各事業所で得た情報をデータとして蓄積し、介護サービスの改善を図っていくというシステムである。将来的にはできる限りすべての事業所が登録することにより、データベースの蓄積、効果的な活用ができる仕組みにしていきたい。

### 委員長から意見

今回の報酬改定ではマイナスになるのではという予測も出ていたが、コロナ関係の0.1%上乘せがあり、最終的には0.07%プラスとなった。科学的な根拠に基づいたサービスの合理性を追求することを目指しているが、L I F Eの活用でどこまで効果が図れるかは未詳である。いずれにしても、認知症サービスの充実等は今の制度の中でも目指していくべき方向性だと思う。地域によって様々な課題があるが、その中で具体的な方策を改正に反映させ、それを受けた運営を現場で行っていくのが良いと思う。

- ( 8 ) その他  
特になし。